

交付運用報告書

GCIエンダウメント ファンド (成長型／安定型)

成長型

第6期末(2021年9月27日)	
基準価額	13,824円
純資産総額	3,804百万円
騰落率	14.5%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

安定型

第6期末(2021年9月27日)	
基準価額	12,106円
純資産総額	1,998百万円
騰落率	6.7%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

追加型投信／内外／資産複合

第6期<決算日2021年9月27日>

作成対象期間：2020年9月26日～2021年9月27日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「GCIエンダウメントファンド(成長型／安定型)」は、このたび第6期の決算を行いました。

当ファンドは、投資対象ファンド(投資信託証券)を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、REIT等に分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ることとしており、かかる投資方針に沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の方法により閲覧、ダウンロードすることができます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセスし、「ファンド」から当ファンドの詳細ページを表示させ、当該ページから運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

なお、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

株式会社GCIアセット・マネジメント

東京都千代田区大手町2-6-4

お問い合わせ先

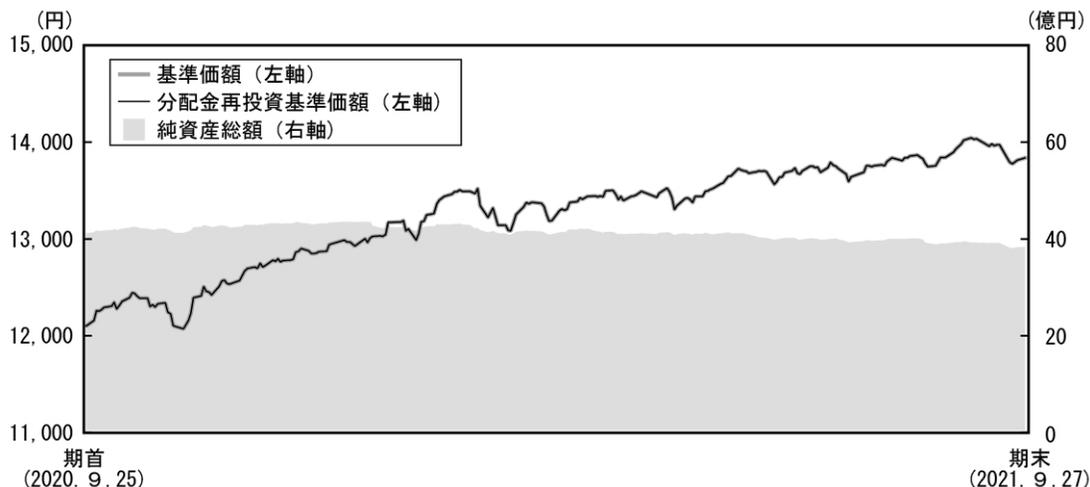
クライアント・リレーションズ・グループ
TEL：03-6665-6952(営業日の9:00~17:00)

URL：<https://www.gci.jp>

運用経過

（成長型）

■基準価額等の推移



期 首：12,077円

期 末：13,824円（既払分配金（税引前）：0円）

騰 落 率： 14.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

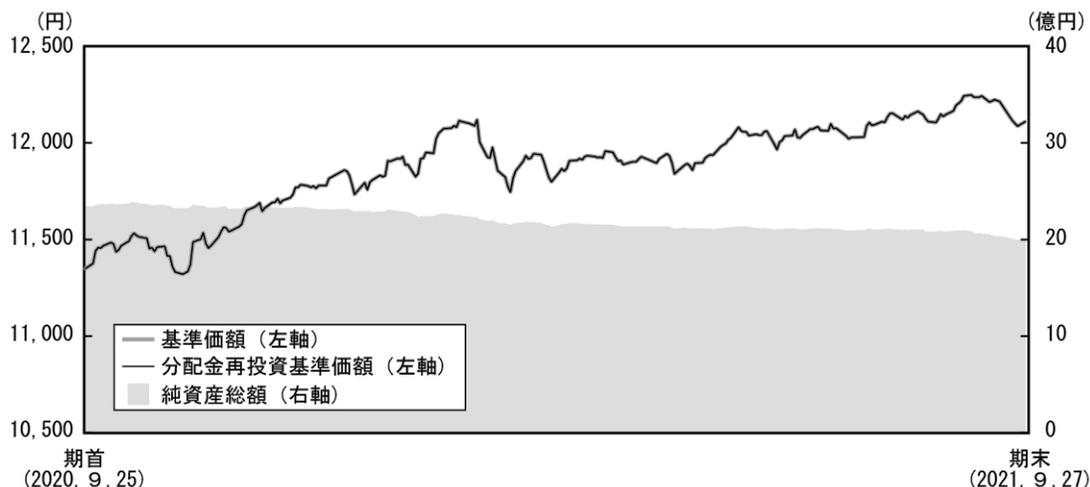
GCIエンダウメントファンド（成長型）の基準価額は上昇し、当期間のリターンは+14.5%となりました。

当期間は、米国長期金利の急上昇や新型コロナウイルスの感染再拡大などが警戒されましたが、グローバルで緩和的な金融環境が継続する中、株式市場の上昇を主因にファンドの基準価額も上昇基調で推移しました。株式、REIT市場は、米バイデン政権による大規模な経済対策や新型コロナウイルスワクチンの普及期待などを背景とする景気回復期待から上昇基調で推移し、ファンドの基準価額にプラスに寄与しました。債券市場は、インフレへの懸念や欧米金融当局の金融正常化への思惑などから米国を中心にグローバルで国債利回りは上昇しましたが、一方で緩和的な金融環境を背景にクレジット・スプレッド（企業等の信用力を示す、国債に対する上乘せ利回り）は縮小したため、当期間を通じては、パフォーマンスは小幅な下落となり、基準価額にマイナスに寄与しました。当ファンドが特徴としているオルタナティブ戦略は、米国長期金利の急上昇局面などでマイナスのリターンとなる場面もみられましたが、当期間を通じては上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

（安定型）

■基準価額等の推移



期 首：11,351円

期 末：12,106円（既払分配金（税引前）：0円）

騰 落 率： 6.7%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の変動要因

GCIエンダウメントファンド（安定型）の基準価額は上昇し、当期間のリターンは+6.7%となりました。

当期間は、米国長期金利の急上昇や新型コロナウイルスの感染再拡大などが警戒されましたが、グローバルで緩和的な金融環境が継続する中、株式市場の上昇を主因にファンドの基準価額も上昇基調で推移しました。株式、REIT市場は、米バイデン政権による大規模な経済対策や新型コロナウイルスワクチンの普及期待などを背景とする景気回復期待から上昇基調で推移し、ファンドの基準価額にプラスに寄与しました。債券市場は、インフレへの懸念や欧米金融当局の金融正常化への思惑などから米国を中心にグローバルで国債利回りは上昇しましたが、一方で緩和的な金融環境を背景にクレジット・スプレッド（企業等の信用力を示す、国債に対する上乗せ利回り）は縮小したため、当期間を通じては、パフォーマンスは小幅な下落となり、基準価額にマイナスに寄与しました。当ファンドが特徴としているオルタナティブ戦略は、米国長期金利の急上昇局面などでマイナスのリターンとなる場面もみられましたが、当期間を通じては上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細 （成長型）

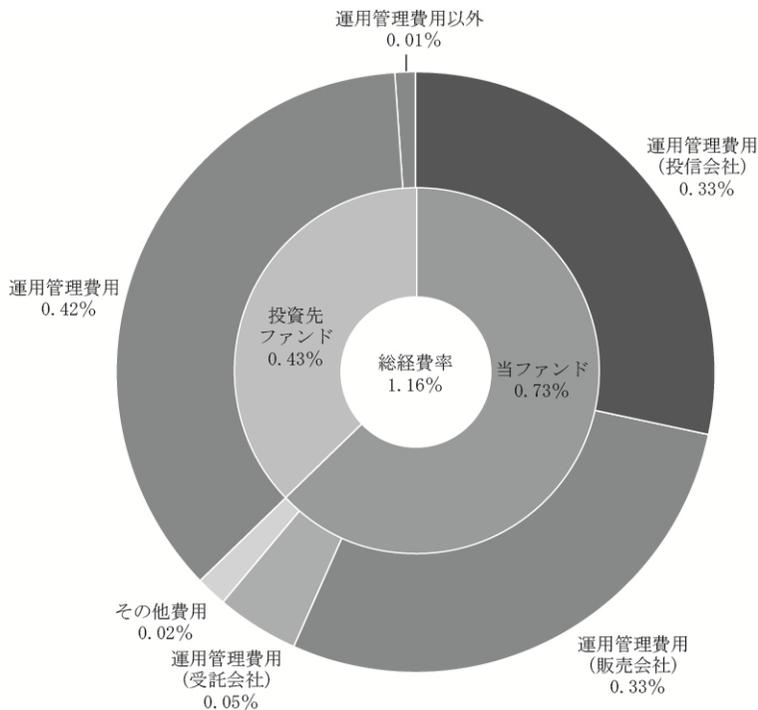
項目	第6期		項目の概要
	2020年9月26日～2021年9月27日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	95円	0.719%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,166円です。 委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価 交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（投信会社）	(44)	(0.332)	
（販売会社）	(44)	(0.332)	
（受託会社）	(7)	(0.055)	
(b) 売買委託手数料	1	0.010	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数×10,000 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(1)	(0.010)	
(c) その他費用	2	0.017	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
（保管費用）	(1)	(0.006)	
（監査費用）	(1)	(0.011)	
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	98	0.746	

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。
- (注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

（参考情報）総経費率

（成長型）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.16%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.16
①このファンドの費用の比率	0.73
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.42
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注) 投資先ファンドの一部については、運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。

（安定型）

項目	第6期		項目の概要
	2020年9月26日～2021年9月27日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	85円	0.719%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,851円です。
（投信会社）	(39)	(0.332)	委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価
（販売会社）	(39)	(0.332)	交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数×10,000
（投資信託受益証券）	(1)	(0.009)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	3	0.029	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000
（保管費用）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.020)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	89	0.757	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

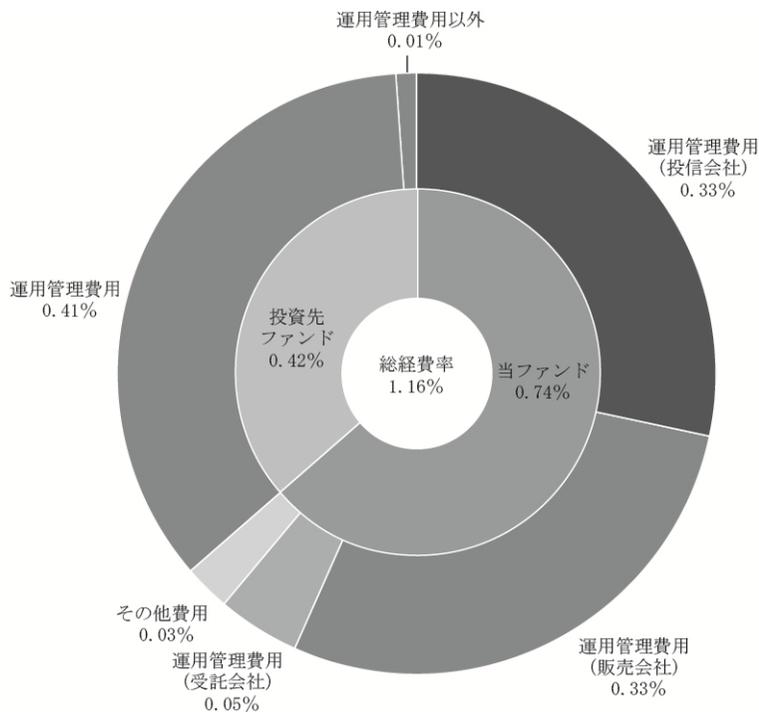
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

（参考情報）総経費率

（安定型）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.16%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.16
①このファンドの費用の比率	0.74
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.41
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

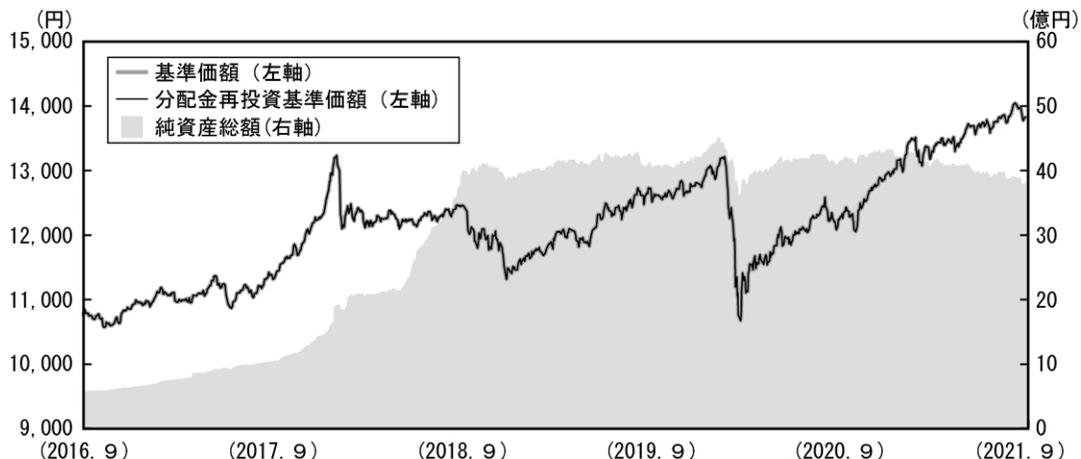
(注) 投資先ファンドの一部については、運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。

■最近5年間の基準価額等の推移

（成長型）

（2016年9月25日～2021年9月27日）

最近5年間の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したもものとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありませんので、ご注意ください。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

最近5年間の年間騰落率

	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日	2018年9月25日 決算日	2019年9月25日 決算日	2020年9月25日 決算日	2021年9月27日 決算日
基準価額 (円)	10,767	11,386	12,444	12,637	12,077	13,824
期間分配金合計（税引前） (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	5.7	9.3	1.6	△4.4	14.5
純資産総額 (百万円)	554	1,040	3,747	4,072	4,079	3,804

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

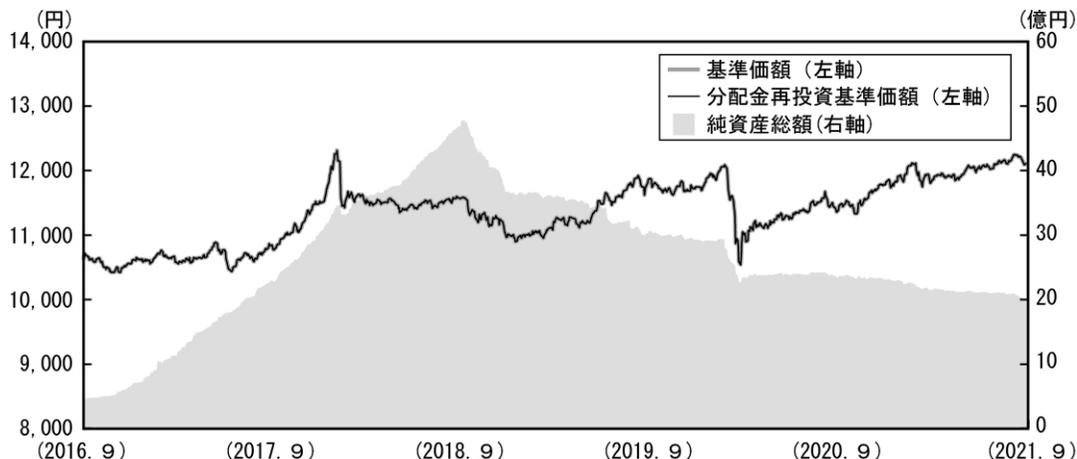
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 各金額は、項目ごとに単位未満を切り捨てています。

（安定型）
最近5年間の推移

（2016年9月25日～2021年9月27日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したもものとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありませんので、ご注意ください。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

最近5年間の年間騰落率

	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日	2018年9月25日 決算日	2019年9月25日 決算日	2020年9月25日 決算日	2021年9月27日 決算日
基準価額 (円)	10,637	10,839	11,565	11,804	11,351	12,106
期間分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.9	6.7	2.1	△ 3.8	6.7
純資産総額 (百万円)	464	2,287	4,672	3,023	2,342	1,998

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 各金額は、項目ごとに単位未満を切り捨てています。

（成長型）／（安定型）

■投資環境

【先進国株式】

先進国株式市場は上昇しました。米国長期金利の急上昇や新型コロナウイルスの感染拡大などから上値が抑えられる場面もみられましたが、米国大統領・議会選挙でのバイデン氏・民主党勝利を受けた大規模な経済対策への期待、新型コロナウイルスワクチンの普及による経済活動正常化への期待、好調な企業業績などを背景に、当期間を通じて欧米株式市場は上昇基調で推移し、米主要株価指数は史上最高値を更新する展開となりました。国内株式市場は2021年3月にかけて上昇した後、新型コロナウイルスの感染拡大や欧米に比したワクチン接種の遅れなどから上値が重く推移しましたが、期末にかけては菅首相の自民党総裁選不出馬の表明を受けた政局不安の後退などから買い戻しの動きが強まり、日経平均株価、TOPIXともに約31年ぶりの高値を更新しました。

【新興国株式】

新興国株式市場は上昇しました。期初から2021年2月にかけては先進国株式市場の上昇に連れて新興国株式市場も上昇しましたが、その後は、中国の景況感に減速感がみられたことや、インドなどで新型コロナウイルスの感染が再拡大したことを受け、上値が重く推移しました。中国政府が2021年の夏場以降、国内のIT、教育、不動産など広範な分野への規制・統制を強化する動きを示したことや中国不動産大手の債務不安も相場の重石となりました。

【先進国債券】

先進国債券市場は下落しました。期初から国債利回りは上昇（債券価格は下落）基調で推移する中、2021年初から3月にかけては、新型コロナウイルスワクチンの普及による経済活動の正常化期待や、バイデン政権の大規模な経済対策による国債増発懸念、インフレの加速などが警戒され国債利回りは急上昇する展開となりました。その後は、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレの加速は一時的との見方を示したことで国債利回りの上昇は一服しましたが、期末にかけては欧米中央銀行による金融正常化への思惑が高まり再び国債利回りは上昇基調となりました。クレジット・スプレッド（企業等の信用力を示す、国債に対する上乗せ利回り）は、グローバルで緩和的な金融環境が継続したため縮小基調で推移しましたが、国債利回り上昇の影響が大きく、当期間を通じては、先進国債券市場は下落しました。

【REIT市場】

REIT市場は上昇しました。グローバルでの緩和的な金融環境が下支えする中、新型コロナウイルスワクチンの開発・接種進展による経済活動正常化や、バイデン政権による大規模な経済対策による景気回復期待などからREIT市場は当期間を通じて上昇基調で推移し、米国REIT市場はコロナショック前の水準を回復しました。国内REIT市場も同様に上昇しましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大や欧米と比したワクチン接種の遅れ、東京都心部のオフィス空室率上昇などが重石となりました。

【オルタナティブ】

ヘッジファンド戦略は上昇しました。米国長期金利の急上昇とそれに伴う株価調整局面ではパフォーマンスが悪化する戦略もみられましたが、グローバルで緩和的な金融政策が継続し株式市場が上昇するリスク選好的な市場環境の下、当期間を通じてヘッジファンド戦略全般も上昇しました。戦略別では、エマージング戦略などがアウトパフォームした一方、株式マーケット・ニュートラル戦略やCTA戦略などがアンダーパフォームしました。

【為替相場】

ドル円相場は、期初から2021年初まではやや円高ドル安基調で推移し1ドル=102円台半ばまで円高ドル安が進行しましたが、米国長期金利が急上昇すると円安ドル高に転じ、一時1ドル=111円台半ばまで円安ドル高が進行しました。その後は、米国長期金利の上昇が一服したため円安の進行も一服し、1ドル=110円前後での推移が継続しました。当ファンドはドル建て資産を保有していますが、為替リスクをヘッジしているため、為替市場の動向による影響は限定的です。

■当該投資信託のポートフォリオ

（成長型）

主として、各国のETFとヘッジファンドに投資しており、期初に定めた基本資産配分比率に従って運用を行いました。この基本資産配分比率は、長期間にわたり安定したパフォーマンスを実現してきた米国名門大学の基金（エンダウメント）が実践してきた投資手法・スタイルを模範としており、投資資産のうちリスク資産のウエイトを増やしつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

当期はヘッジファンドについて、新たな収益源の確保ならびに分散効果の追求を目的として、従来の「GCI システムティック・マクロファンド Vol10 クラスA」に加え「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」を投資対象に追加しました。

組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

（安定型）

主として、各国のETFとヘッジファンドに投資しており、期初に定めた基本資産配分比率に従って運用を行いました。この基本資産配分比率は、長期間にわたり安定したパフォーマンスを実現してきた米国名門大学の基金（エンダウメント）が実践してきた投資手法・スタイルを模範としており、投資資産のうちリスク資産のウエイトを抑制しつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して安定的な運用を行いました。

当期はヘッジファンドについて、新たな収益源の確保ならびに分散効果の追求を目的として、従来の「GCI システムティック・マクロファンド Vol10 クラスA」に加え「GCI ディバーシファイドアルファファンド クラスA」を投資対象に追加しました。

組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

（成長型）／（安定型）

各ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

（成長型）

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勧案して分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目	第6期	
	2020年9月26日～2021年9月27日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,824

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（安定型）

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勧案して分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目	第6期	
	2020年9月26日～2021年9月27日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,105

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

（成長型）／（安定型）

当ファンドは例年9月に基本資産配分の見直しを行っています。その前提となるビッグ・ピクチャー（10年程度の時間軸でマクロ環境を俯瞰した投資環境の認識）は以下の通りです。昨年2020年9月に見直しを行いました、今年には大きな変更はありません。

1. グローバル化がさまざまな格差拡大や米中対立などの副作用を増長させた結果、その反動が顕在化しています。それでもなお、人類の自由への希求と技術革新が停滞するとは考えにくく、グローバル化という太く大きな潮流自体は不変だと思います。加えて、デジタル化（技術革新）や世界的な少子高齢化の影響もあり、ディスインフレ環境は引き続き長期化すると考えます。
2. グローバル化は人類による経済成長志向の自然な帰着でしたが、成長一本やりの限界あるいは弊害がさまざまな形で顕在化した結果、経済のみならず、環境や気候問題など、地球規模の「持続可能性」に対する問題意識が高まりつつあります。また、成長志向の弊害として格差拡大などの歪みが拡大したことに伴い、「富の分配」に対する問題意識が世界的に高まりました。こうしたサステナビリティに対する認識と対応が実体経済と金融市場に与える影響は一層増していくのではないかと思います。
3. 2008年以降の拡張的財政金融政策は、債務の増大とあらゆる資産価格の上昇をもたらしましたが、コロナショックはこうした未曾有の政策対応を一層加速させることとなり、主要国の金利はほぼ消失しました。実質的な財政ファイナンスが各国で行われているとも言えますが、ここでも、その持続可能性が大きなテーマになると思われます。特に、米国債とドルの信用力を基に築かれた信用経済体制の根幹が問われるような可能性も念頭に置く必要があると考えています。

一方、いくつかのリスク要因が顕在化する可能性が出てきました。なかでも、以下二つは大きな影響を与え得るものであり、留意しています。

第一に、コロナ禍からの回復に伴い、インフレ懸念が台頭しつつあることです。その結果、債券市場・株式市場を支えてきた緩和的な金融政策の転換が意識され始めています。米ドル金利は石油危機後のピークから、ほぼ40年間にわたって低下傾向をたどってきましたが、ゼロ金利のフロアにぶつかり、量的緩和という非伝統的な政策からの正常化がいかなる形で進むのか、市場は注視しています。

第二に、中国経済と地政学的リスクです。グローバル経済への影響が大きくなった中国では、共産党政権による経済活動へのさまざまな規制強化が進められつつあります。それに加えて、そもそも情報公開に難があることから、予想外の材料が飛び出す可能性も否定できず、波乱要因となる可能性が高まっているといえます。

当面のメインシナリオは、上記を含むさまざまなリスクはあるものの、各国政策当局が適切に対応してコロナ禍からの脱却に向かい、債券・株式とも底堅く推移するというものです。しかしながら、政策の賞味期限も永遠ではなく、調整局面到来も十分覚悟の上で、政策と需給に支えられた相場についていく姿勢が必要だと考えています。「慎重なる楽観」とでも表現しておきます。最善の対応は、「分散」とそれに基づくリスク管理です。

当ファンドは、どのような市場環境であっても、下落リスクを想定範囲内に抑制することに努め、資産価値の保全を最優先しながら、長期的安定的な成長を目指してまいります。

お知らせ

（成長型）／（安定型）

◇約款変更

- ・投資対象ファンドの「TOPIX連動型上場投資信託」のファンド名称の変更に伴い、「NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信」にファンド名称を変更する約款付表の変更を行いました。（変更日：2020年10月16日）
- ・オルタナティブ戦略として組み入れるヘッジファンドにおいて、投資対象ファンドに「GCIディバーシファイドアルファファンド クラスA」の追加に伴う約款付表の変更を行いました。（変更日：2021年6月25日）

◇運用体制の変更

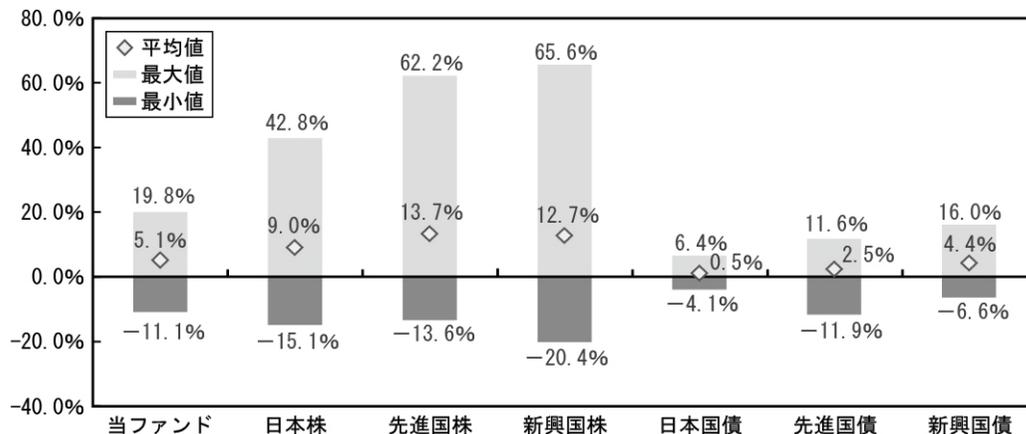
該当事項はありません。

当該投資信託の概要

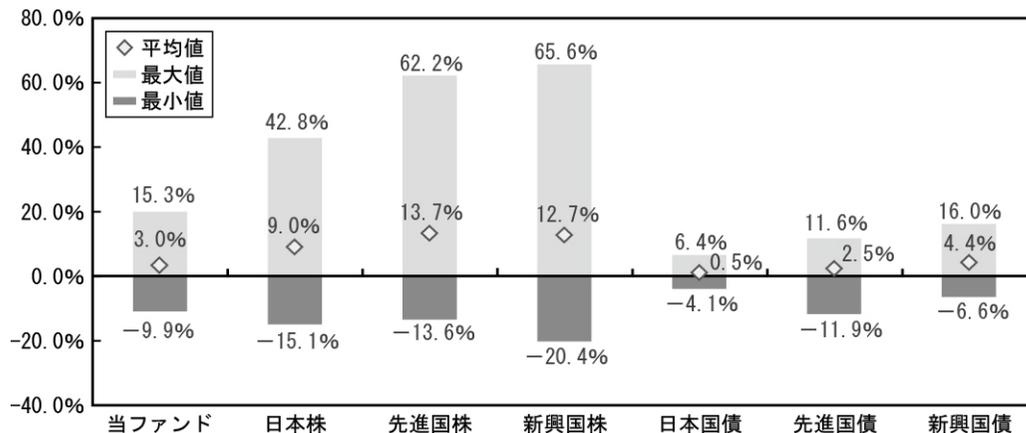
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として無期限（2015年9月25日設定）	
運用方針	成長型	投資資産のうちリスク資産のウェイトを増やしつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。
	安定型	投資資産のうちリスク資産のウェイトを抑制しつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して安定的な運用を行います。
主要投資対象	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ・NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信 ・バンガード・S&P500 ETF ・バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF ・バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF ・バンガード・米国トータル債券市場ETF ・バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり） ・NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信 ・バンガード・リアル・エステート ETF ・GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスA ・GCIディバーシファイドアルファファンド クラスA ・GCIマネープールマザーファンド	
運用方法	投資対象ファンド（投資信託証券）を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、リートなどに分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ります。	
分配方針	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

（成長型）



（安定型）



期間：2016年9月～2021年8月

(注) 当ファンドについては2016年9月～2021年8月の5年間、代表的な資産クラスについては2016年9月～2021年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての代表的な資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率を記載していますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<代表的な各資産クラスの指数>

日本株：Morningstar日本株式指数
 先進国株：Morningstar先進国株式指数除く日本
 新興国株：Morningstar新興国株式指数
 日本国債：Morningstar日本国債指数
 先進国債：Morningstarグローバル国債指数除く日本
 新興国債：Morningstar新興国ソブリン債指数

※全て税引前の利子・配当込みの指数値を使用しています。海外資産の指数については、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数値を使用しています。

<各指数の概要>

日本株：Morningstar日本株式指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar先進国株式（除く日本）指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar新興国株式指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar日本国債指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstarグローバル国債（除く日本）指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc. が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstar インデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。

上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstar グループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（成長型）

◇組入ファンド等

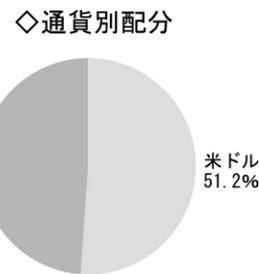
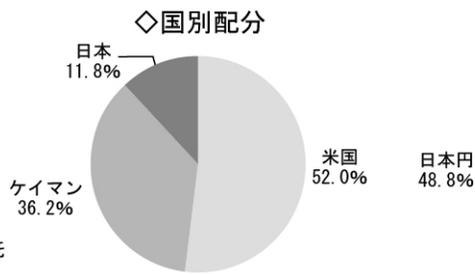
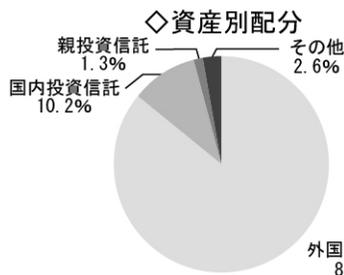
（組入銘柄数：11銘柄）

	第6期末 (2021年9月27日)
GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスA	17.8%
バンガード・S&P500 ETF	17.7%
GCIディバーシファイドアルファファンド クラスA	17.5%
バンガード・米国トータル債券市場ETF	12.5%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	10.1%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	5.2%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	5.0%
バンガード・リアル・エステート ETF	4.9%
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	3.0%
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	2.4%
その他	3.9%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。

（注）上位3ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

（注）その他は現金・未払金等です。



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）国別配分は、国・地域別による配分で比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

項目	第6期末 (2021年9月27日)
純資産総額	3,804,166,721円
受益権総口数	2,751,808,805口
1万口当たり基準価額	13,824円

（注）当期中における追加設定元本額は562,603,881円、一部解約元本額は1,188,570,035円です。

■組入上位ファンドの概要

（成長型）

《GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA》

◇基準価額の推移



◇組入上位10銘柄

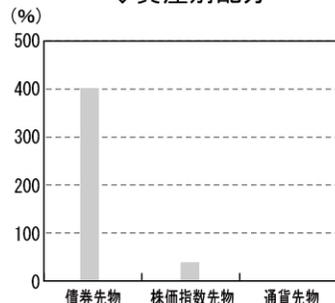
2021年5月31日

	銘柄名	種類	通貨	国	組入比率 (%)
1	2-Year US Treasury Note Futures Sep 21	債券先物	USD	米国	198.2
2	10-Year JGB Futures Jun 20 Jun 21	債券先物	JPY	日本	125.1
3	30-Year US Treasury Bond Futures Sep 21	債券先物	USD	米国	44.8
4	French 10-Year Bond Future Jun 21	債券先物	EUR	ドイツ	17.5
5	Long Gilt Futures Sep 21	債券先物	GBP	英国	16.5
6	E-mini S&P 500 Futures Jun 21	株価指数先物	USD	米国	13.9
7	CAC-40 Index Futures Jun 21	株価指数先物	EUR	フランス	9.2
8	Nikkei 225 Futures Jun 20 Jun 21	株価指数先物	JPY	日本	9.1
9	E-mini NASDAQ-100 Futures Jun 21	株価指数先物	USD	米国	3.5
10	DAX Futures Jun 21	株価指数先物	EUR	ドイツ	1.8
組入銘柄数					11銘柄

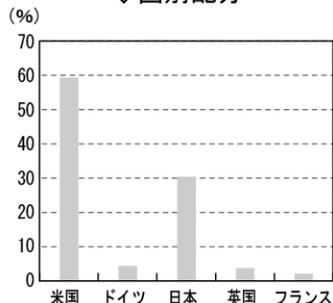
(注) 銘柄は、GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスAが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地および債券は発行体の所在地です。

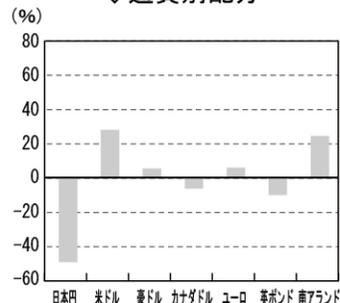
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在、同ファンドが実質保有している銘柄等にかかるものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入銘柄等の評価額の割合、国別配分の比率は組入銘柄の評価総額に対する各組入銘柄の所在国の割合です。

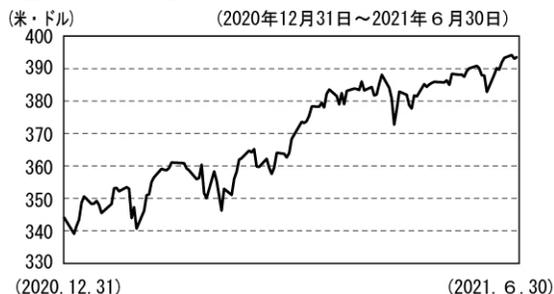
(注) 国別配分は、先物が上場している取引所の所在地に関する割合です。

(注) 通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する為替エクスポージャーの割合であり、うち日本円は、他の通貨ごとのエクスポージャーを調整した割合です。

■組入上位ファンドの概要 （成長型）

《バンガード・S&P500 ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.03%

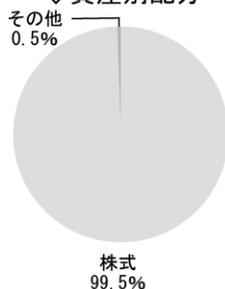
※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、直近の目論見書より経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用、その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

2021年6月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Apple Inc.	株式	米ドル	5.9
2	Microsoft Corp.	株式	米ドル	5.6
3	Amazon.com Inc.	株式	米ドル	4.0
4	Facebook Inc.	株式	米ドル	2.3
5	Alphabet Inc. Class A	株式	米ドル	2.0
6	Alphabet Inc. Class C	株式	米ドル	2.0
7	Berkshire Hathaway Inc.	株式	米ドル	1.4
8	Tesla Inc.	株式	米ドル	1.4
9	NVIDIA Corp.	株式	米ドル	1.4
10	JPMorgan Chase & Co.	株式	米ドル	1.3
組入銘柄数				507銘柄

◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。

(注) 費用明細、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要

（成長型）

《GCIディバーシファイドアルファファンド クラスA》

初回決算日を迎えていないため、記載すべき情報はありません。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（安定型）

◇組入ファンド等

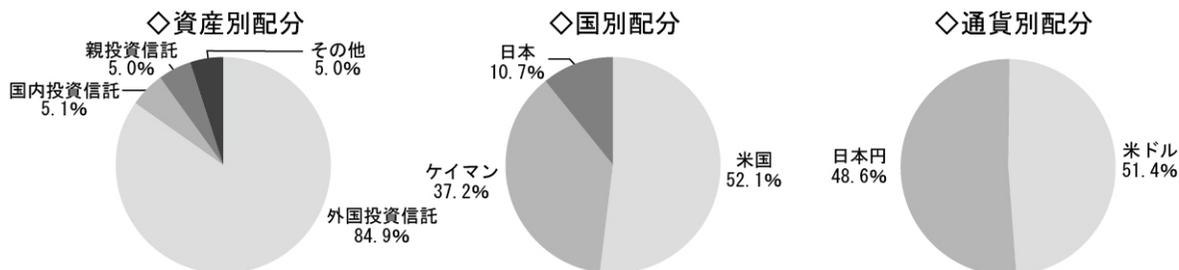
（組入銘柄数：10銘柄）

	第6期末 (2021年9月27日)
バンガード・米国トータル債券市場ETF	25.6%
GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスA	17.9%
GCIディバーシファイダルファファンド クラスA	17.4%
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	8.7%
バンガード・S&P500 ETF	7.7%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	5.1%
GCIマネーボールマザーファンド	5.0%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	2.6%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	2.5%
バンガード・リアル・エステート ETF	2.5%
その他	5.0%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。

（注）上位3ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

（注）その他は現金・未払金等です。



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）国別配分は、国・地域別による配分で比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

項目	第6期末 (2021年9月27日)
純資産総額	1,998,232,113円
受益権総口数	1,650,652,565口
1万口当たり基準価額	12,106円

（注）当期中における追加設定元本額は193,614,364円、一部解約元本額は606,284,368円です。

■組入上位ファンドの概要 （安定型）

《バンガード・米国トータル債券市場ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

項目	比率
経费率（エクスペンス・レシオ）	0.035%

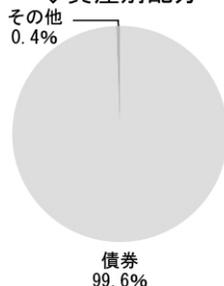
※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、直近の目論見書より経费率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経费率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用、その他の経費の比率（%）です。経费率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

2021年6月30日

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	TREASURY NOTE 0.25% 06/15/2023	債券	米ドル	0.7
2	UMBS 30YR TBA (REG A) 2.5% 07/14/2021	モーゲージ証券	米ドル	0.6
3	TREASURY NOTE 2% 08/15/2025	債券	米ドル	0.5
4	TREASURY NOTE 1.13% 02/15/2031	債券	米ドル	0.5
5	UMBS 30YR TBA (REG A) 2% 07/14/2021	モーゲージ証券	米ドル	0.5
6	TREASURY NOTE 0.13% 11/30/2022	債券	米ドル	0.5
7	TREASURY NOTE 0.88% 11/15/2030	債券	米ドル	0.4
8	TREASURY NOTE 2% 05/31/2024	債券	米ドル	0.4
9	TREASURY NOTE 0.63% 08/15/2030	債券	米ドル	0.4
10	TREASURY NOTE 0.63% 05/15/2030	債券	米ドル	0.4
組入銘柄数				10,138銘柄

◇資産別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のもので。

(注) 費用明細、組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

(注) 国別配分については、入手できるデータがないため記載していません。

■組入上位ファンドの概要

（安定型）

《GCIシステマティック・マクロファンド Vol 10 クラスA》

◇基準価額の推移



◇組入上位10銘柄

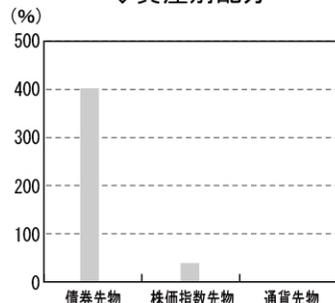
2021年5月31日

	銘柄名	種類	通貨	国	組入比率 (%)
1	2-Year US Treasury Note Futures Sep 21	債券先物	USD	米国	198.2
2	10-Year JGB Futures Jun 20 Jun 21	債券先物	JPY	日本	125.1
3	30-Year US Treasury Bond Futures Sep 21	債券先物	USD	米国	44.8
4	French 10-Year Bond Future Jun 21	債券先物	EUR	ドイツ	17.5
5	Long Gilt Futures Sep 21	債券先物	GBP	英国	16.5
6	E-mini S&P 500 Futures Jun 21	株価指数先物	USD	米国	13.9
7	CAC-40 Index Futures Jun 21	株価指数先物	EUR	フランス	9.2
8	Nikkei 225 Futures Jun 20 Jun 21	株価指数先物	JPY	日本	9.1
9	E-mini NASDAQ-100 Futures Jun 21	株価指数先物	USD	米国	3.5
10	DAX Futures Jun 21	株価指数先物	EUR	ドイツ	1.8
組入銘柄数					11銘柄

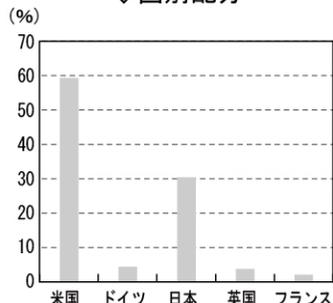
(注) 銘柄は、GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスAが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地および債券は発行体の所在地です。

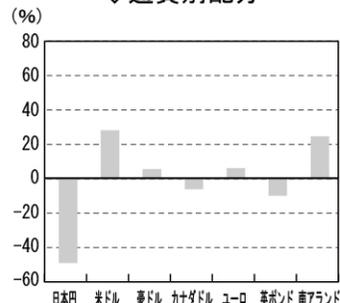
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在、同ファンドが実質保有している銘柄等にかかるものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入銘柄等の評価額の割合、国別配分の比率は組入銘柄の評価総額に対する各組入銘柄の評価額の割合です。

(注) 国別配分は、先物が上場している取引所の所在地に関する割合です。

(注) 通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する為替エクスポージャーの割合であり、うち日本円は、他の通貨ごとのエクスポージャーを調整した割合です。

■組入上位ファンドの概要

（安定型）

《GCIディバーシファイドアルファファンド クラスA》

初回決算日を迎えていないため、記載すべき情報はありません。